

2022年10月31日

営業技術部 浜田

2022「第63回 品質月間」

お疲れ様です。 営業技術部の浜田です。

新型コロナウイルスによる世界的蔓延が今なお影響を残し、そしてウクライナへの軍事侵攻など私たちが当たり前と思っていた社会(生活)が世界規模で変貌してしまいました。

いつ起るか分からない中国のロックダウンや今なお続く半導体不足による計画性のない生産情報、その後の減産情報など大幅な変更に対応しながらの生産活動が続き

今なお先が見通せない中で今年も「品質月間」を迎えます。

2022「第63回 品質月間」が

11月1日から11月30日までの1カ月間 開催されます。

「品質月間」日常生活ではあまり聞きなれない言葉です。しかし、製造業界ではとても大事な期間です。品質月間とは、「品質意識の高揚、品質管理活動の幅広い普及活動を目的」としており、毎年11月を品質月間と定めています。

テーマ 『今こそ実践 新たな社会のクオリティ』

DX化やそれを支える人材育成、TQMの根幹である社内外とのコミュニケーションを根底から考え直そうという意図があり、その意図の実現に向けた活動の展開に挑戦する意味が込められているそうです。

私たちが生産している製品に対する品質の意識をさらに強く持つことで普段の作業を改めて見直し、より一層の品質向上を目指すことを目的とし品質活動を行っています。しかしながら日常のやり慣れた作業の中で「普段以上に意識する・気を付ける」のはとても難しいことだと思います。

工程のクオリティを正しい姿にするためには、工程の現状把握を行い本質的問題点を洗い出し、社員全員が知恵を絞ってその解決に当たるという品質管理活動の視点と方法が有効なことは言うまでもありません。そういう品質管理活動を品質管理に携わる方はもちろん仕事に従事する従業員全員で考える機会に今年度の「品質月間」がなればと思っています。



以上